

助成方針

1. 助成方針の目的

SUREみらい財団（以下「当財団」）は、
機会格差を縮め、誰もが安心して自分らしい選択ができる社会の土台をつくるというミッションのもと、
現場で実践を続けるNPO・非営利団体への助成を通じて、
社会課題の構造的解決と、持続可能な支援の循環を目指す。
本方針は、当財団が
どのような団体を、どのような考えで支援するのかを明確に示すものである。

2. 助成の基本スタンス

① 現場主義

当財団は、自らが現場の主体となるのではなく、
現場で闘うNPOを支える存在である。

② 助成×伴走

資金提供にとどまらず、
団体の成長・継続・自立につながる伴走を重視する。

③ 選択肢を増やす支援

成果を「人数」や「短期効果」だけで測らず、
当事者の人生における選択肢が増えたかを重視する。

④ 小さく、深く

限られた資源を分散させず、
テーマと団体を絞り、深い支援を行う。

3. 助成対象分野

① こども・若者支援

以下を目的とする取り組みを対象とする。
虐待・貧困・孤立の予防および回復支援
居場所づくり、学びの保障、家族支援
不登校・中退・引きこもり状態にある若者への支援
目指す変化

「自分を大切に思える」こども・若者が増えること。

② 障害者就労支援

以下を目的とする取り組みを対象とする。

- ・ 障害のある人の就労機会の創出
- ・ 就労定着に向けた合理的配慮・伴走支援
- ・ ジョブコーチ、職場開拓、スキル訓練等の実践

目指す変化

「働くことをあきらめなくていい」社会の実現。

4. 助成対象団体

対象となる団体

- ・ NPO法人、一般社団法人、任意団体等の非営利団体
- ・ 上記分野において、実践的な活動実績または明確な構想を持つ団体

重視する点

- ・ 当事者視点に立った活動であること
- ・ 現場の声を起点に事業が設計されていること
- ・ 組織としての誠実性・透明性があること

5. 助成対象外

以下に該当する場合、原則として助成対象外とする。

- ・ 営利を主目的とする団体・事業
- ・ 特定の政治・宗教活動を目的とするもの
- ・ 単発イベントのみを目的とした活動
- ・ 財団のミッションとの適合性が低いもの

6. 助成内容

助成の種類

- ・ 事業助成（プログラム実施費）
- ・ 組織基盤強化助成（人件費・運営費の一部を含む場合あり）

※助成金額・期間は、年度・プログラムごとに定める。

7. 選考・意思決定の考え方

主な選考観点

- ・ ミッションとの適合性

- ・ 社会的インパクトの可能性
- ・ 実行力・継続性
- ・ 学びや波及性の有無

選考は、当財団の意思決定フローおよび利益相反ルールに基づき、公正に行う。

8. 報告と対話

- ・ 助成先には、所定の活動報告を求める
- ・ 形式的な報告ではなく、学びの共有を重視する
- ・ 必要に応じて、定期的な対話・伴走を行う

9. 公開と説明責任

助成実績および活動概要は、

当財団の情報公開方針に基づき、適切な形で社会に共有する。

10. 付記

当財団の助成は、

「正解を与える支援」ではない。

現場とともに悩み、学び、

未来に続く一歩を共につくるための助成である。